



HarmoNe t

多文化共生型 地域コミュニティ DX プラットフォーム

～ 生成 AI が実現する「言葉の壁を超えた」暮らし～

なぜ HarmoNet を作るのか

「国籍・人種・性別に関係なく、誰もが安心して暮らせる街をつくりたい」

背景

つくば市は外国人研究者が多く、大規模住宅街や集合住宅に多くの外国人居住者が暮らしている

課題認識

管理組合では言語的なコミュニケーション困難が発生。ゴミ出し・防災ルールが伝わらない

アナログの限界

2026 年が近いのに、回覧板は未だに手運用。スマホで完結できないか？

技術の進化

2025 年、生成 AI の性能が飛躍的に向上。1 人でも AI 支援で SaaS 開発が可能に

つくば市への想い

自然と研究学園都市という構想が大変気に入っている。この街をより快適に便利に

だから

HarmoNet で「言葉の壁」を技術で解決し、多文化共生を実現する

解決したい課題



言語の壁

外国人居住者に日本語の回覧板・掲示物が伝わらない

ゴミ出しルールの誤解 / 防災訓練の不参加 / 共用施設トラブル



アナログ運用

回覧板は紙でポスト投函。回らない・届かない・遅い

現役世代は情報取得困難 / 配布に1週間以上 / 既読確認不可



役員負担

管理組合役員の業務負担が限界。なり手不足が深刻化

回覧板の印刷配布 / 施設予約の手作業 / 多言語対応の困難

これらの課題をテクノロジーで解決し、多文化共生の地域コミュニティを実現する

HarmoNet

とは

多言語対応の「デジタル回覧板」で地域コミュニティを DX

3 言語リアルタイム翻訳

日本語・英語・中国語の自動翻訳

3 言語音声読み上げ

高齢者・視覚障害者にも情報を届ける

AI モデレーション

不適切投稿を自動検出・フィルタリング

マジックリンク認証

パスワード不要。メールリンクをタップするだけ

マルチテナント対応

複数の管理組合・自治会を 1 システムで運用

実際の画面イメージ

スクリーンショット

後から差し替え

技術と開発体制

技術スタック

フロントエンド

Next.js 16 + React 19

最新 App Router / Server Components

バックエンド

Supabase (PostgreSQL + Auth)

RLS (Row Level Security) でテナント分離

AI 連携

Google Cloud + OpenAI API

翻訳 ・ TTS ・ AI モデレーション

インフラ

Vercel (Serverless)

ハードウェア保守不要 ・ 自動スケール

開発体制

AI 駆動開発

生成 AI (Claude / GPT-4.5 Class) との協働で、1 人でも商用 SaaS レベルの品質を実現

開発者プロフィール



TKD

IT エンジニア / システムアーキテクト

26 年間のシステム開発経験

個人開発でも 企業レベルの品質 を生成 AI で担保

実証計画と展開

PHASE 1 | 2025.12 - 2026.03

実証実験

セキュレアシティ研究学園（約 171 戸）で住民利用検証

12 月：管理組合座談会でデモ

PHASE 2 | 2026.04 -

TX 沿線展開

大規模住宅街・集合住宅へマルチテナント機能で横展開

需要に応じて法人化検討

PHASE 3 | 将来展望

BtoB 展開

大手ハウスメーカー・マンションデベロッパー向け

OEM 提供・パートナー連携

ターゲット市場

TX 沿線エリア

つくば～秋葉原の大規模開発地域

大規模住宅街

100 戸以上の分譲住宅地

大規模集合住宅

タワーマンション・大規模マンション

BtoB

ハウスメーカー・デベロッパー

Society 5.0 社会実装トライアル支援事業への申

請くば市の多文化共生 × 地域 DX の実証モデルを創出

ご支援をお願いいたします